

第13回 千葉県 地域年金事業運営調整会議

令和7年7月29日

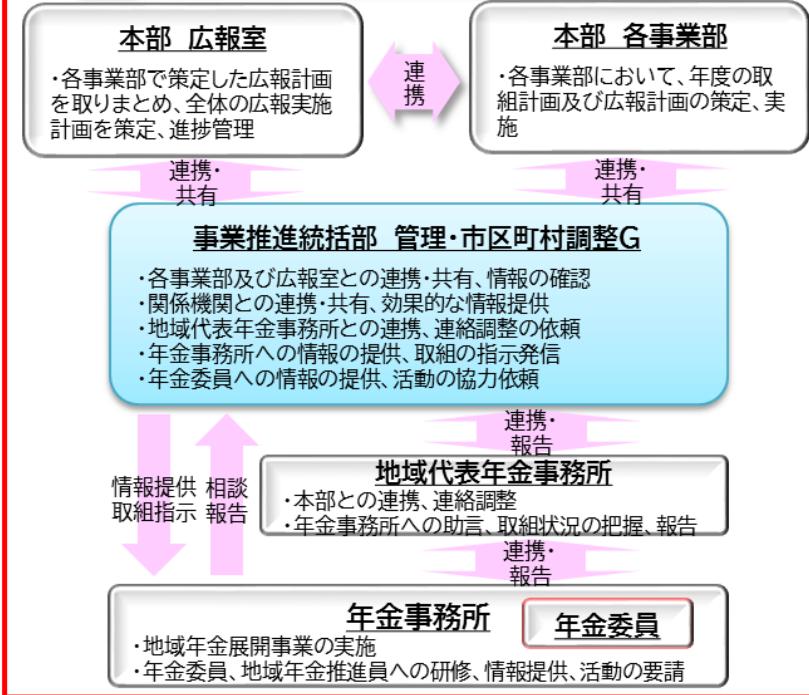
千葉年金事務所（県代表年金事務所）
千葉県内各年金事務所



-
- 1. 地域年金展開事業の概要 3 P
 - 2. 令和6年度事業実施結果（令和6年4月～令和7年3月） 5 P
 - 3. ねんきん月間および年金の日の取り組み 1 4 P
 - 4. これまでの会議で出た意見および課題への対応 1 6 P
 - 5. 令和7年度の事業計画（案） 3 0 P

1. 地域年金展開事業の概要（1/2）

日本年金機構 / 情報の提供側



各事業の策定

各事業部の取組

- 未適用事業所にかかる取組
 - 被保険者の適用にかかる調査
 - 納付督促、免除勧奨にかかる取組
 - 年金給付にかかる取組
- 等

地域年金展開事業の策定

地域年金展開事業 ～公的年金制度の周知～

- ① ポスター、チラシ、リーフレット等の配布
- ② 年金制度説明会の実施
- ③ 年金セミナーの実施
- ④ 出張年金相談
- ⑤ 地域年金事業運営調整会議
- ⑥ 「ねんきん月間」、「年金の日」における各種取組
- ⑦ 「わたしと年金」エッセイ

協力・連携

連携・共有する機関

厚生労働省 ⑤

- 年金局
- 職業安定局
- 保険局
- 社会・援護局
- 地方厚生(支)局

地域 ⑤

- 地域のコミュニティ(自治会・町内会)
- 地元企業
- 教育機関(大学・高校・専門学校)
- 商業施設・商工会
- 地方自治体

関係機関/団体 ⑤

- 全国年金受給者団体連合会
- 全国社会保険協会連合会
- 全国社会保険委員会連合会
- 社会保険労務士会
- 社会福祉協議会
- 全国健康保険協会/各健康保険組合
- ・国民年金基金

情報の受手側

学生

取組: ①③⑥⑦

国民年金の被保険者

取組: ①②③
④⑥⑦

厚生年金保険の被保険者

取組: ①②④
⑥⑦

事業主

取組: ①②④
⑥⑦

年金受給者

取組: ①②④
⑥⑦

1. 地域年金展開事業の概要（2/2）

地域年金展開事業の主な取り組み

- ◆公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。
- ◆また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

《主な取り組み内容》

地域連携事業

- ・職員が自治体や民間企業、関係団体、自治会等に対して事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施。
- ・市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。

地域相談事業

年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。

年金セミナー事業

職員が、大学や専門学校、高校、特別支援学校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。専門学校等での学生納付特例制度の申請窓口の開設や、パンフレットの掲示や設置、配付の依頼等。

年金委員活動支援事業

年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。

地域年金事業運営調整会議

公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。

2. 令和6年度事業実施結果（1/9）

事業名	実施した事項	課題・次年度に向けた改善点
地域連携事業	<p>①企業等に対する年金制度説明会 →厚生年金保険適用事業所を対象に、Web会議サービス（Microsoft Teams）を活用して、主に新規に適用された事業所の事務担当者向けの説明会を20回開催しました。</p> <p>②自治会等に対する年金講座 →地域型年金委員と連携し、自治会等の地域住民に対する年金講座を4回開催しました。（前年度+3回） 開催内容：「知っておきたい年金のはなし」冊子説明、「ねんきんエッセイ」紹介、「学生納付特例制度」、「遺族年金」 ※講座終了後「個人相談会」、「民生委員への地域型年金委員の委嘱説明会」を実施しました。</p> <p>【開催スケジュール】</p> <p>5/10（金）桜ヶ丘自治会 10/1（火）御成台二丁目自治会 11/1（金）あすみが丘ガーデンコート管理組合 11/24（日）御成台三丁目自治会</p>	<p>【次年度に向けて】 定期的な実施に向けて開催回数を増やしてまいります。</p> <p>【次年度に向けて】 千葉県地域型年金委員会連絡会および地区連絡会において、年金講座を主催した自治会等の地域型年金委員より講座内容の紹介と感想の発表をしていただきました。令和7年度においても、地域型年金委員と連携し、講座の開催に向けて取り組んでまいります。</p>

2. 令和6年度事業実施結果（2/9）

地域相談事業

①遠隔地における出張年金相談会の実施

→鴨川市、館山市、山武市、勝浦市の協力を得て、遠隔地において定期的に年金事務所の職員が市町村役場等に出向き出張年金相談を行いました。

【次年度に向けて】

遠隔地における出張年金相談会については、今後も継続して実施します。

②学生納付特例制度出張年金相談会の実施

→11月の「ねんきん月間」で年金セミナーを開催した専門学校1校（ちば愛犬動物フロワー学園）において学生納付特例制度出張年金相談会を開催しました。

【次年度に向けて】

大学・専門学校での学生納付特例制度出張相談会の開催拡大に向けたアプローチを行ってまいります。

年金委員活動 支援事業

地域型・職域型年金委員研修

→地域型年金委員対象の研修を14回、職域型年金委員対象の研修を8回開催しました。

【次年度に向けて】

地区連絡会、年金委員表彰伝達式、事業所向け研修会および年金講座等の場を用いて活動回数を増やしてまいります。

2. 令和6年度事業実施結果（3/9）

令和6年度各拠点での取り組み事例等

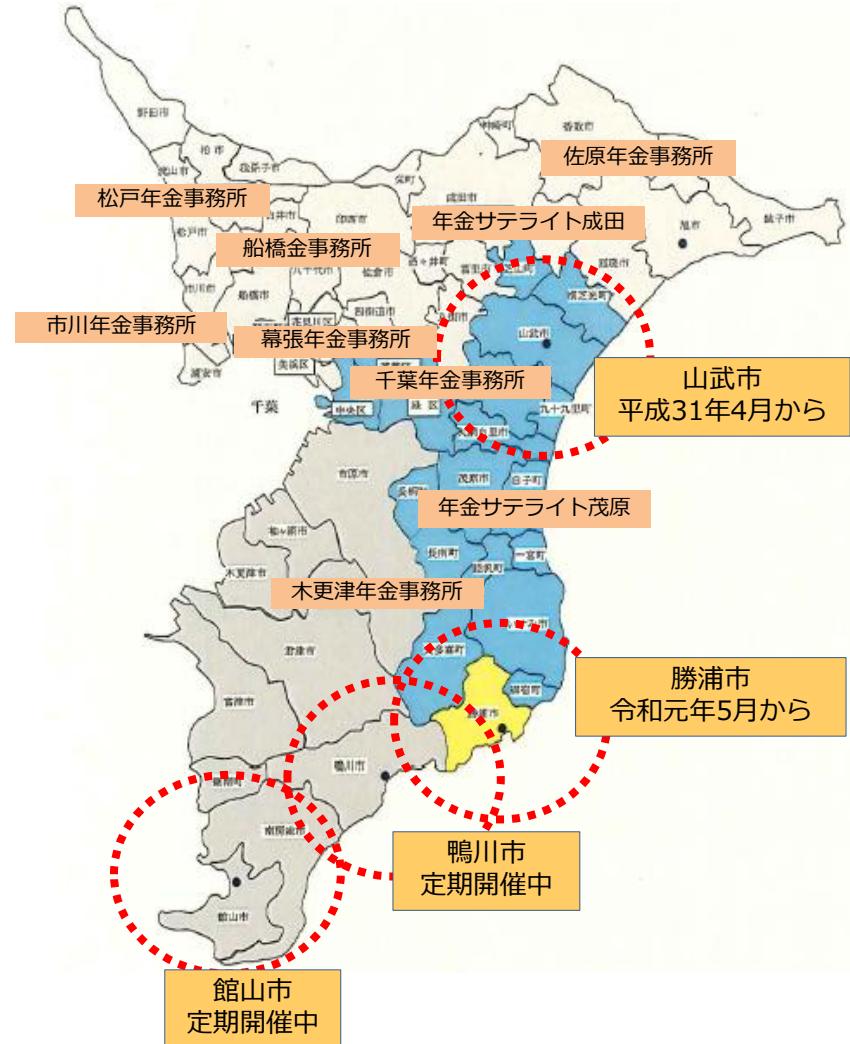
遠隔地での年金サービスの展開

外房地域において市町村と協力連携し、出張年金相談を行いました。

- <山武市> 6回（偶数月）実施（千葉年金事務所）
- <勝浦市> 6回（奇数月）実施（千葉年金事務所）
- <鴨川市> 6回（奇数月）実施（木更津年金事務所）
- <館山市> 6回（偶数月）実施（木更津年金事務所）

千葉県内の年金事務所および分室

- ・千葉年金事務所
- ・幕張年金事務所
- ・船橋年金事務所
- ・市川年金事務所
- ・松戸年金事務所
- ・木更津年金事務所
- ・佐原年金事務所
- ・年金サテライト茂原
- ・年金サテライト成田



2. 令和6年度事業実施結果（4/9）

事業名	実施した事項			課題・次年度に向けた改善点																				
年金セミナー事業	<p>①教育機関における年金セミナー →県内の高等学校、専門学校、大学および特別支援学校を対象に、79校（合計115回、受講者数約9,200名）に対して年金セミナーを実施しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教育機関</th><th>令和5年度実施数</th><th>令和6年度実施数</th><th>対前年比</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高等学校</td><td>50校 (59回)</td><td>60校 (69回)</td><td>+10校 (+10回)</td></tr> <tr> <td>専門学校</td><td>16校 (42回)</td><td>14校 (40回)</td><td>-2校 (-2回)</td></tr> <tr> <td>大学※ 特別支援学校</td><td>8校 (8回)</td><td>5校 (6回)</td><td>-3校 (-2回)</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>74校 (109回)</td><td>79校 (115回)</td><td>+5校 (+6回)</td></tr> </tbody> </table> <p>（ ）内は実施回数（1校で複数回実施する場合があるため） ※大学は1校（3/31（月）植草学園大学 学生納付特例制度ガイダンス開催）</p> <p>②年金セミナーの開催拡大に向けた取り組み →地域年金推進員の支援強化 地域年金推進員連絡会を年3回（5月、8月、1月）開催し、アプローチ方法や学校別の開催状況について、推進員同士の意見交換の場を設けました。 →高等学校の開催拡大 令和4年3月に全国の高等学校に配布された厚生労働省編集「高等学校新学習指導要領対応 「人生100年時代の社会保障を考える」高校生向け社会保障教育指導者用マニュアル」に則った年金教育の一端を学校に代わり機構が行うことを勧奨した結果、前年度よりも高等学校における開催校が増加しました。</p>			教育機関	令和5年度実施数	令和6年度実施数	対前年比	高等学校	50校 (59回)	60校 (69回)	+10校 (+10回)	専門学校	16校 (42回)	14校 (40回)	-2校 (-2回)	大学※ 特別支援学校	8校 (8回)	5校 (6回)	-3校 (-2回)	合計	74校 (109回)	79校 (115回)	+5校 (+6回)	<p>【次年度の方針】 厚生労働省編集の「高等学校新学習指導要領」に対応した高等学校への年金セミナー開催の強化を引き続き図ってまいります。 専門学校については、社会保険制度の説明も行いつつ、就職活動に向けたアドバイスを行ってまいります。 大学については、植草学園大学において、学生納付特例制度ガイダンスを開催しました。次年度も開催校の拡充に向けて取り組みを行ってまいります。</p>
教育機関	令和5年度実施数	令和6年度実施数	対前年比																					
高等学校	50校 (59回)	60校 (69回)	+10校 (+10回)																					
専門学校	16校 (42回)	14校 (40回)	-2校 (-2回)																					
大学※ 特別支援学校	8校 (8回)	5校 (6回)	-3校 (-2回)																					
合計	74校 (109回)	79校 (115回)	+5校 (+6回)																					
				<p>【次年度の方針】 高等学校卒業後の進路に応じたセミナー資料を3種類（進学希望者が多い学校用、進学希望者と就職希望者がある程度混在している学校用、就職希望者が圧倒的に多い学校用）提示し、学校側の要望に応じた年金セミナーを引き続き開催します。</p>																				

2. 令和6年度事業実施結果（5/9）

事業名	実施した事項	課題・次年度に向けた改善点
年金セミナー 事業	<p>③年金セミナー終了後の評価</p> <p>→令和5年度のセミナー終了後のアンケートにおいて受講した生徒から、「年金に対する疑問・悲観的・否定的な意見・感想」が100件以上寄せられました。他にも「貯金で十分」、「老後も働くから年金制度は要らない」と回答する受講生が前年度よりも増加していました。</p> <p>そのため、令和6年度の資料では、それらのコメントを分析し、疑問や否定的な意見に対して、「正しい知識」を持ってもらえる内容にするとともに、機構職員に対する講師養成研修についても開催を増やした結果、令和5年度と比較して評価が改善しました。</p>	<p>【次年度の方針】</p> <p>令和6年度のアンケートで記載された年金に対する疑問や、悲観的・否定的な意見や感想についての改善を図りながら、セミナーを進行してまいります。</p>

2. 令和6年度事業実施結果 (6/9)

事業名	③年金セミナー終了後の評価						
年金セミナー 事業	アンケート項目	回答数		受講生に占める割合		回答数増減数	割合増減率
		令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度		
	「貯金で十分」だから年金制度は不要	113	80	1.8%	1.1%	-33	-0.7
	「老後も働く」だから年金制度は不要	94	50	1.5%	0.7%	-44	-0.8
	年金に対する「疑問・悲観的・否定的」意見・感想	106	20	1.7%	0.3%	-86	-1.4
	(内訳)						
	マスコミがらみの意見・感想	6	0			-6	
	噂がらみ（SNS等）の意見・感想	3	0			-3	
国に関する意見・感想		12	2			-10	
将来の年金受給に関する意見・感想		25	9			-16	
少子高齢化に関する意見・感想		13	3			-10	
年金制度全般に関する意見・感想		44	6			-38	
世代と世代の支え合いに関する意見・感想		3	0			-3	
合計		106	20			-86	
年金制度は必要である		5607	6993	89.0%	94.5%	1386	5.5

2. 令和6年度事業実施結果（7/9）

年金セミナー開催実績

高等学校60校、専門学校14校、特別支援学校等4校、大学1校 計79校
 ※千葉県立高校52校（県内公立高校のうちの43%実施）

事業名	年金セミナー開催校学校別・事務所別内訳			
	事務所	大学・特別支援学校	専門学校	高等学校
年金セミナー 事業	千葉	植草学園大学 ゆたかカレッジ、長生特別支援学校	国際医療福祉専門学校、北原学院千葉歯科衛生専門学校、ちば愛犬動物フランク学園、千葉デザイナー学院、千葉ビューティ＆ブライダル専門学校、国際トラベルホテルブライダル専門学校、ジェイヘアメイク美容専門学校、ハッピーメイク専門学校	東金高校、茂原高校、大多喜高校、土気高校、茂原樟陽高校、一宮商業高校、大網高校、大原高校、九十九里高校、泉高校、生浜高校、松尾高校、千葉聖心高校、あずさ第一高校
	幕張		千葉美容専門学校	幕張総合高校、津田沼高校、市立習志野高校、佐倉西高校、佐倉東高校、佐倉南高校、富里高校、千葉女子高校
	船橋	八千代特別支援学校		葉園台高校、市立船橋高校、船橋古和釜高校、印旛明誠高校、東京学館船橋高校、船橋北高校
	市川			行徳高校、市川昂高校、浦安南高校、市川南高校、鎌ヶ谷西高校、不二女子高校
	松戸	東葛の森特別支援学校	北原学院歯科衛生専門学校	柏中央高校、流山おおたかの森高校、市立松戸高校、松戸馬橋高校、流山北高校、我孫子東高校、松戸南高校
	木更津		日本自動車大学校袖ヶ浦校	木更津高校、市原緑高校、木更津東高校、京葉高校、君津青葉高校、市原高校、君津商業高校、君津高校、天羽高校、袖ヶ浦高校、市原八幡高校、姉崎高校
	佐原		日本自動車大学校、藤リハビリテーション学院、二葉看護学院	成田北高校、成田西陵高校、下総高校、市立銚子高校、旭農業高校、東総工業高校、多古高校

2. 令和6年度事業実施結果（8/9）

事業名	実施した事項
年金委員活動支援事業	<p>①年金委員表彰伝達式</p> <p>→日本年金機構では毎年11月を「ねんきん月間」と位置付けており、令和6年度は11月21日（木）に県内の全年金事務所における年金委員を対象とした表彰伝達式を実施しました。受賞者数は13名（厚生労働大臣表彰1名、日本年金機構理事長表彰4名、日本年金機構理事表彰8名）です。</p> <p>〈令和6年度 年金委員表彰伝達式（オークラ千葉ホテル）〉</p>  <p>写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。</p>

2. 令和6年度事業実施結果（9/9）

事業名	実施した事項	課題等																
年金委員活動支援事業	<p>②地域型年金委員との連絡会</p> <p>→地域型年金委員が所属する管内の年金事務所において地域型年金委員連絡会を開催しました。</p> <p>県連絡会：令和6年7月、10月、2月の年3回開催</p> <p>地区連絡会：各拠点において年2回開催</p> <p>③年金委員数（令和6年度末）</p> <table border="1" data-bbox="322 659 1263 986"> <thead> <tr> <th></th><th>令和4年度 (令和5年3月末時点)</th><th>令和5年度 (令和6年3月末時点)</th><th>令和6年度 (令和7年3月末時点)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域型年金委員</td><td>268</td><td>291</td><td>286</td></tr> <tr> <td>職域型年金委員</td><td>2,602</td><td>2,793</td><td>2,808</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>2,870</td><td>3,084</td><td>3,094</td></tr> </tbody> </table> <p>④地域型・職域型年金委員への情報提供</p> <p>→地域型、職域型年金委員に対して、「チラシ・リーフレットの説明ポイント※」チラシを添えてリーフレット、チラシ等を毎月郵送しました。</p> <p>また地域型年金委員に対しては、3ヶ月ごとに年4回広報誌「年金委員通信」を発行しました。</p> <p>※チラシ作成を管轄する本部各部署による「地域型・職域型年金委員がチラシの説明を行う際」のポイントを記載した資料</p>		令和4年度 (令和5年3月末時点)	令和5年度 (令和6年3月末時点)	令和6年度 (令和7年3月末時点)	地域型年金委員	268	291	286	職域型年金委員	2,602	2,793	2,808	合計	2,870	3,084	3,094	<p>【次年度の方針】</p> <p>地域型年金委員県連絡会に出席する地区代表委員の構成を見直し、出席委員の日頃の活動状況を報告いただくとともに、情報共有を図ってまいります。また、連絡会を具体的な実行策を構築していく場として位置づけ、地区連絡会に情報を提供し、委員活動の活性化に努めてまいります。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>令和6年度の年金委員数は、地域型が減少し、職域型は増加しました。次年度においては、地域型は、自治会等での年金講座やねんきん月間での委員活動の中で、年金委員への参加を促す施策を講じてまいります。</p> <p>職域型では、事業所調査時の勧奨、新規適用事業所への勧奨、電子申請加入勧奨事業所へのチラシ送付の取り組みを実施してまいります。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>令和6年度同様、地域型、職域型年金委員に対して、説明のポイントを添えたリーフレット、チラシ等を毎月郵送するとともに、「年金委員通信」の発行による情報提供をしてまいります。</p>
	令和4年度 (令和5年3月末時点)	令和5年度 (令和6年3月末時点)	令和6年度 (令和7年3月末時点)															
地域型年金委員	268	291	286															
職域型年金委員	2,602	2,793	2,808															
合計	2,870	3,084	3,094															

3. ねんきん月間および年金の日の取り組み

千葉県におけるねんきん月間および年金の日の取り組み事例

千葉	<ul style="list-style-type: none">①駅頭ポスター掲示（JR京葉線千葉みなと駅改札、JR外房線茂原駅改札）②駅頭リーフレット配布（11/27（水）9:00～9:30 JR京葉線千葉みなと駅コンコース 地域型年金委員2名参加、11/29（金）8:50～9:20 JR外房線茂原駅コンコース 地域型年金委員4名参加）③学生納付特例制度出張年金相談会（11/6（水）、11/8（金）ちば愛犬動物フラー学園）④年金セミナー（11/7（木）九十九里高校、11/18（月）土気高校、11/25（月）あずさ第一高校、11/26（火）大網高校、11/28（木）千葉デザイナーアカデミー、11/29（金）千葉デザイナーアカデミー）⑤自治会等年金講座（11/1（金）9:30～12:00 あすみが丘ガーデンコート管理組合、11/24（日）10:00～12:00 御成台三丁目自治会）⑥年金エッセイ動画上映会（11/30（土）10:00、11:00、13:00、14:00、15:00 事務所2階会議室）
幕張	<ul style="list-style-type: none">・職域型年金委員及び管内市区町村へ「ねんきん月間」ポスター・リーフレットの送付・年金セミナー（11/11（月）幕張総合高校、11/21（木）富里高校、11/22（金）幕張総合高校）・地域型年金委員による、所属自治会等への「年金の日」ポスターの掲示・近隣事業所協賛ポスターの待合室掲示（11/3～11/30）
船橋	<ul style="list-style-type: none">①職域型年金委員及び市町村へ「ねんきん月間」ポスター、リーフレットの送付②船橋市駅前掲示板への「年金の日」ポスターの掲示（11/17（日）～11/30（土）） <掲示場所> JR総武線東船橋駅南口・北口、西船橋駅南口、北総線小室駅北口前、東武野田線馬込沢駅西口前、塚田駅西口前、新京成線二和向台駅駐輪場内③地域型年金委員による、所属自治会、居住マンションへの「年金の日」ポスターの掲示（～11/30（土））④地域型年金委員による、千葉ニュータウンイオン（屋外）でのパンフレット配布⑤年金セミナー（11/6船橋古和釜高校、11/18東京学館船橋高校、11/19葉園台高校、印旛明誠高校、11/27津田沼高校）

3. ねんきん月間および年金の日の取り組み

千葉県におけるねんきん月間および年金の日の取り組み事例

市川	①職域型、地域型年金委員および各市町村へポスター・リーフレットを送付 ②駅頭ポスター掲示（JR市川駅、京成市川真間駅） ③年金セミナー（11/12行徳高校、11/20浦安南高校、11/29市川南高校） ④地域型年金委員による、所属自治会等への「年金の日」ポスターの掲示 ⑤11/30事務所入口（京成市川ビル入口）での各種パンフレット配布
松戸	①職域型、地域型年金委員および各市町村へポスター・リーフレットを送付 ②駅頭ポスター掲示（JR松戸駅、JR柏駅） ③年金セミナー（11/28（木）流山北高校） ④地域型年金委員によるJR柏駅でのパンフレット配布
木更津	①職域型、地域型年金委員および各市町村へポスター・リーフレットを送付 ②駅頭ポスター掲示（木更津駅、五井駅） ③年金セミナー（11/7（木）袖ヶ浦高校、11/14（木）天羽高校、11/18（月）市原緑高校、11/28（木）君津高校） ④外国人向け出張相談（11/10（日）市原市戸田コミュニティーセンター 市主催、入国管理局と共に）
佐原	①駅頭ポスター掲示（JR佐原駅） ②チラシ配布（ふるさとフェスタさわら会場 成田市産業まつり） ③職域型年金委員・管内各市へポスター・リーフレットを送付 ④年金セミナー（11/7藤りハビリテーション学院 11/14成田北高校 11/21多古高校） ⑤香取市公式LINEによるねんきん月間・年金の日周知（11/3 11/29）

4. これまでの会議で出た意見および課題への対応（1/14）

項目番号	日付	事業名	意見・提案事項	対応状況
1	令和4年7月28日 第10回運営調整会議 (書面開催)	年金委員活動支援事業	コロナ禍だったが、Web会議サービスを活用した新しい方法で年金制度説明会を開催したり、特定郵便局長への年金委員委嘱でここ数年減少傾向にあった年金委員数を増加させたことは十分評価に値すると思う。	ご評価いただきましてありがとうございます。 年金委員の新たな委嘱については、事務所から年金制度改正等に伴う、リーフレット、チラシ等の定期的な情報提供や研修等を積極的に行い、年金委員数の増加に努めてまいります。
2	令和4年7月28日 第10回運営調整会議 (書面開催)	年金セミナー事業	年金セミナー事業で松戸年金事務所が未実施の理由と4年度の計画・見込み	松戸年金事務所において令和3年度は主催事務所としての実施はありませんでしたが、他事務所との共催によるセミナーは担当していました。 令和4年度は、管轄内の高校への勧奨活動積極的に行った結果、主催事務所として3校開催しました。令和5年度以降も勧奨を行い、開催校の増加に努めています。

4. これまでの会議で出た意見および課題への対応（2/14）

項目番号	日付	事業名	意見・提案事項	対応状況
3	令和4年7月28日 第10回運営調整会議 (書面開催)	地域相談事業	遠隔地での年金サービスの展開について、当面はこの方針で実施するとしても、将来的に鴨川、勝浦地域は分室を設置すべきだと思います。要望を今からして欲しい。	年金事務所分室の設置については、日本年金機構本部により計画の策定がされているところであり、本会議において分室の設置希望があつた旨について、日本年金機構本部と情報共有をしてまいります。 また、鴨川、勝浦をはじめとする出張年金相談については、お客様チャネルの確保の観点からも引き続き継続してまいりたいと考えております。
4	令和4年7月28日 第10回運営調整会議 (書面開催)	年金セミナー事業	動画提供型の制度説明会や年金セミナーはDVDを渡して終わりとなることのないよう、アンケート回収のみならず、DVD視聴後の質疑に対応する枠組みをつくりきめ細やかなものにしていただきたい。	動画提供型の年金セミナーは令和4年度は千葉県内では開催しておらず、対面型もしくは会議ツールを使用した非対面型で直接講師が受講者に説明をする形式で実施しております。

4. これまでの会議で出た意見および課題への対応（3/14）

項目番号	日付	事業名	意見・提案事項	対応状況
5	令和4年7月28日 第10回運営調整会議 (書面開催)	事業計画	高校と大学（20歳到達者を含む教育機関）は内容を変えて取り組まれたい。	令和4年度に千葉県内の大学への年金セミナーは開催されておりません。 20歳到達者を含む教育機関としては専門学校への年金セミナーを開催しております。 セミナー内では、学生納付特例制度の遡り申請について説明をしております。
6	令和4年7月28日 第10回運営調整会議 (書面開催)	その他	隔月で実施していただいている出張年金相談は、遠隔自治体である勝浦市としては、大変ありがとうございます。今後とも、住民サービス向上のため、継続して実施していただきたいと切に希望いたします。	出張年金相談については、お客様チャネルの確保の観点からも継続してまいりたいと考えております。 自治体様には、会議室の確保や出張年金相談日の広報など、引き続きご協力いただきますようお願ひいたします。

4. これまでの会議で出た意見および課題への対応（4/14）

項目番号	日付	事業名	意見・提案事項	対応状況
7	令和4年7月28日 第10回運営調整会議 (書面開催)	5.その他	年金セミナー等で学校と接する際は、是非学生納付特例事務法人の指定について、ご理解・ご協力いただけるようお話ししたい。	年金セミナーを開催する専門学校等に対して、年金セミナー開催に向けての打合せ時に、学生納付特例事務法人の説明も行い、ご理解・ご協力をいただくよう対応してまいります。
8	令和4年7月28日 第10回運営調整会議 (書面開催)	6.その他	地域年金展開事業運営調整会議の目的は適用事業所の増加および国民年金保険料納付率のUPでした。平成24年度で59.0%（千葉県では56.8%）と60%を切る最悪の状態でした。会議の中で、学校教育や年金セミナーを最重点として取り組みました。アニュアルレポートによれば、令和2年度の納付率は71.5%、最終納付率は77.2%と大幅に改善されてました。千葉県はわかりませんが、この展開事業の成果は調整会議でも大いに知らせるべきです。	令和4年度分保険料の現年度納付率は、前年度納付率 + 2.2ポイントの76.1%、令和3年度分保険料の過年度1年目は + 7.2ポイントの81.0%、令和2年度分保険料の最終納付率は + 9.2ポイントの80.7%となり、現年度納付率は11年連続向上、最終納付率は10年連続向上となりましたことをご報告いたします。 また、公的年金制度に対する理解促進への取り組みとして、若手職員を中心とした講師育成のための研修やコンテストに参加するとともに、受講者層に応じたセミナーとなるよう教材の見直しを進め、年金セミナーのさらなる質の向上を図ってまいります。

4. これまでの会議で出た意見および課題への対応（5/14）

項目番号	日付	事業名	意見・提案事項	対応状況
1	令和6年2月1日 第11回運営調整会議 (書面開催)	年金セミナー事業	教育機関における年金セミナーは、コロナ禍中にもかかわらず、非対面のツールを活用し、対前年比で33校増（5回増）、対前々比で52校増（70回増）であり、受講者を着実に拡大していると評価できます。	年金セミナーにおいては、高等学校、専門学校を中心に関催しております。高等学校については、本部委嘱の地域年金推進員が積極的に各学校にアプローチをかけて、開催回数を増やしております。令和6年度も引き続き、未開催の学校の開拓を行っていきます。あわせて、セミナー講師のスキルを上げるべく、講師養成研修を開催していきます。
2	令和6年2月1日 第11回運営調整会議 (書面開催)	年金セミナー事業	工業高校のように卒業後すぐに就職を希望する者が多いのか、或いは進学校のように卒業後もまだ学生でいる者が多いのか、学校の特性に応じて、セミナー資料を3部用意するというのは、受講者側にも非常に役立つ、よい取り組みだと思います。	高等学校については、卒業後の進路に応じて、進学版、進学＆就職版、就職版の3種類を作成し、アプローチ時に学校側の要望を取り入れて、使用する資料を決定しております。

4. これまでの会議で出た意見および課題への対応（6/14）

項目番号	日付	事業名	意見・提案事項	対応状況
3	令和6年2月1日 第11回運営調整会議 (書面開催)	年金セミナー事業	県内の大学でセミナーを開催しなかった理由を教えて下さい。令和2年度は1校、3年度は2校の実績がありました。（大学・他の表示で）	千葉県では、年金セミナーを開催するにあたり、令和4年3月に厚生労働省から全国の高等学校に配布された「高等学校新学習指導要領対応「人生100年時代の社会保障を考える」高校生向け社会保障教育指導者用マニュアル」を基に授業の補完として年金セミナーを位置づけており、高等学校から高い評価を得ております。講師の人数等を勘案した場合、大学での開催は厳しい状況にありますが、今後は新入生のオリエンテーション時での開催を勧奨してまいります。なお、令和5年度においては大学へのセミナーを1校開催しました。
4	令和6年2月1日 第11回運営調整会議 (書面開催)	年金セミナー事業	特別支援学校等については、保護者や教職員に向けても対応されているようなので、障害年金の制度・仕組みや申請方法等についても説明していただければと思います。また、関東財務局から共同開催ができないか打診を受けているところです。（例えば高等学校において、金融の話と合わせて説明するとか。）財務局としては要請があれば対応することなので、次年度以降ご一考いただければ幸いです。	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校では、保護者の方からニーズの高い申請方法等について詳細に説明しております。 またセミナー終了後に保護者との質疑応答の時間を設けております。 金融教育については、4月16日（火）に財務省関東財務局同席のもと、千葉財務事務所にて打合せをおこないました。現在、県内の高等学校に対して、年金セミナーのアプローチ訪問の際にあわせて開催の提案をしております。 なお、金融教育に関しては、令和6年4月に金融経済教育推進機構が設立され、8月より稼働することですので、今後は学校側より要望があれば、そちらを紹介していく予定です。

4. これまでの会議で出た意見および課題への対応（7/14）

項目番号	日付	事業名	意見・提案事項	対応状況
5	令和6年2月1日 第11回運営調整会議 (書面開催)	年金委員活動支援事業	民生委員は知っていても、年金委員の認知度はまだ低いと思います。他県で取り組んでいる例もありますが、地域で認知され活用しやすくするため、また年金委員のモチベーションを目指すため、希望者に対し名刺を作成・配布するなど取り組んでみるのも如何でしょうか。	地域型年金委員の全員に対して、令和5年度より5月に名刺を作成し、郵送にて配布を行っております。
6	令和6年2月1日 第11回運営調整会議 (書面開催)	年金委員活動支援事業	職域型年金委員が減少しているが、どのような理由があるのでしょうか。	現任の事業所従業員の退職や人事異動等の際に後任の年金委員を推薦していただけないケースがあることが理由です。委員数減少に対しては、退任する職域型年金委員に、後任者推薦について、引き継ぎ協力を要請しています。

4. これまでの会議で出た意見および課題への対応（8/14）

項目番号	日付	事業名	意見・提案事項	対応状況
7	令和6年2月1日 第11回運営調整会議 (書面開催)	その他	健康保険・厚生年金保険の新規加入事業所事務説明の中で、健康保険加入においては、市町村国保に加入している場合、国保をやめる届書が必要になることもあわせてご説明いただければと思います。ご協力のお願いとなります。ご検討よろしくお願ひいたします。	各種説明会（新規適用事業所説明会、算定基礎届説明会等）の場にて、周知するよう県内年金事務所あて要望をお伝えいたします。
8	令和6年2月1日 第11回運営調整会議 (書面開催)	その他	令和5年度の地域年金事業運営調整会議は、関東信越厚生局管内では、10都県のうち、書面開催は2県だけでした。（千葉県・長野県）令和6年度においては、千葉県でも、集合開催があればいいと思います。	コロナ禍の影響を勘案し、千葉県では令和5年度までは書面開催にしておりました。令和6年度より集合開催にて実施してまいります。

4. これまでの会議で出た意見および課題への対応（9/14）

項目番号	日付	事業名	意見・提案事項	回答
1	令和6年7月25日 第12回運営調整会議	年金セミナー事業	①令和6年度の年金セミナーで大学はどこの学校で開催したのですか。 ②今後大学への拡充は検討していますか。	①神田外語大学です。 ②大学のカリキュラムに取り入れるのが難しいのが現状です。入学ガイダンス時の調整を図ってまいります。（ガイダンスに入る時間は10～15分程度が限度となります。）
2	令和6年7月25日 第12回運営調整会議	地域連携事業	①自治会等での年金講座は先方からの要望ですか。 ②年齢層や開催場所はどこですか。 ③苦労した点等はありますか。	①東千葉地区自治会内の「わわわの会」というボランティア団体から要望を受けました。「わわわの会」では以前より警察、金融関係等の講座を行っています。 ②年齢層は60～70代。開催場所は自治会の集会所です。 ③事前に打合せを行いました。講座は遺族年金等の他に国民年金の納付に結び付けるために受講者の孫等に対応した学生納付特例制度の説明を行いました。 令和6年度は地区連絡会での「わわわの会」の説明を受けた中で要望があった他の自治会で年金講座を開催する予定です。

4. これまでの会議で出た意見および課題への対応（10/14）

項目番号	日付	事業名	意見・提案事項	回答
3	令和6年7月25日 第12回運営調整会議	地域相談事業	<p>①遠隔地での出張年金相談ですが、利用者数はどのくらいですか。</p> <p>②遠隔地＝外房地域ですが、それ以外の地域で事業を展開する予定はありますか。</p>	<p>①10時～15時の事前予約制で、1人の担当者で2桁はいかない数字です。木更津管轄では、市政だよりで予約受付をして、1回あたり20名の予約がありました。回数を増やして欲しいとの要望があります。</p> <p>②要望が上がつてくれれば検討します。</p>
4	令和6年7月25日 第12回運営調整会議	年金セミナー事業	千葉県社会保険労務士会では高等学校にて出前授業を開催しており、連合会総会でも評判を得ております。講座は労働保険や賃金、労働時間、求人票の見方等がメインで年金授業が入っていません。今後、年金部分も加えさせていただけないでしょうか。	東京都では、社会保険労務士会とのコラボにて、労働から年金まで網羅した年金授業を行っています。千葉県でも今後検討していきたいと思います。

4. これまでの会議で出た意見および課題への対応（11/14）

項目番号	日付	事業名	意見・提案事項	回答
5	令和6年7月25日 第12回運営調整会議	年金セミナー事業	現在地域年金推進員が5名いるとのことですが、今後推進員数を増やしていく方向ですか。できれば増やしていただきたいです。セミナーの開催についても、文部科学省との協力で全国的に増やして欲しいです。	地域年金推進員については、地域によって、配属数が決められているので、当面現状の人数で活動してまいります。 セミナー開催の拡大については、講師を年金事務所の職員が担当していることから、職員の業務負担との兼ね合いや講師のスキル向上が必要と考えております。
6	令和6年7月25日 第12回運営調整会議	年金セミナー事業	国民年金基金加入者の年齢層を見ると30～40%が50代となっており、若年層が少ない。年金教育は早いうちから納付の大切さについて話して欲しい。学生納付特例事務代行の学校を増やして欲しい。 PTAの保護者に聞かせたい。	ご意見として伺います。

4. これまでの会議で出た意見および課題への対応（12/14）

項目番号	日付	事業名	意見・提案事項	回答
7	令和6年7月25日 第12回運営調整会議	年金セミナー事業	①「わたしと年金」エッセイは誰でも閲覧できるところにあるのですか。 ②地域型年金委員で民生委員への委嘱要請はしていますか。 また地域型年金委員は先生しか委嘱できないのですか。	①日本年金機構のホームページに掲載しています。 ②地域型年金委員の委嘱は先生以外も可能です。なお、民生委員への委嘱は年金講座終了時に説明会を行った実績があります。
8	令和6年7月25日 第12回運営調整会議	年金セミナー事業	令和6年度も若手職員の年金セミナー講師養成はしているのでしょうか。	地域年金展開事業担当が要望のある県内の事務所に7月～8月に出向き、年金セミナー講師養成研修を実施しております。

4. これまでの会議で出た意見および課題への対応（13/14）

項目番号	日付	事業名	意見・提案事項	回答
9	令和6年7月25日 第12回運営調整会議	地域連携事業	<p>①外国語版のチラシを使用した外国人への啓発活動はしているのですか。</p> <p>②市町村国保加入について令和6年10月改正の周知活動はしているのですか。</p>	<p>①機構本部において適用、国年の12か国語のチラシを作成し、市区役所に配布しております。</p> <p>また日本年金機構HPにも掲載しております。</p> <p>②日本年金機構HPへの掲載、納入告知書へのチラシの封入（令和6年7月号）、厚生労働省HP適用拡大特設サイトへの掲載等を行っております。</p> <p>その他、専門家活用支援事業として事業主・従業員のみなさまへのご説明を社労士等を派遣して行っております。</p>
10	令和6年7月25日 第12回運営調整会議	地域連携事業	<p>勝浦市の年金課の現状です。</p> <p>①大学では学生納付特例申請が1週間に1～2回程度あります。大学生は住民票を移さない人が多いです。</p> <p>②高齢化で年金の受取相談が多いです。年金が複雑化しているため、受取事務が大変です。</p> <p>出張年金相談感謝しております。今後も続けて欲しいです。</p>	<p>今後も勝浦市との出張年金相談について継続的実施を図ってまいります。</p>

4. これまでの会議で出た意見および課題への対応（14/14）

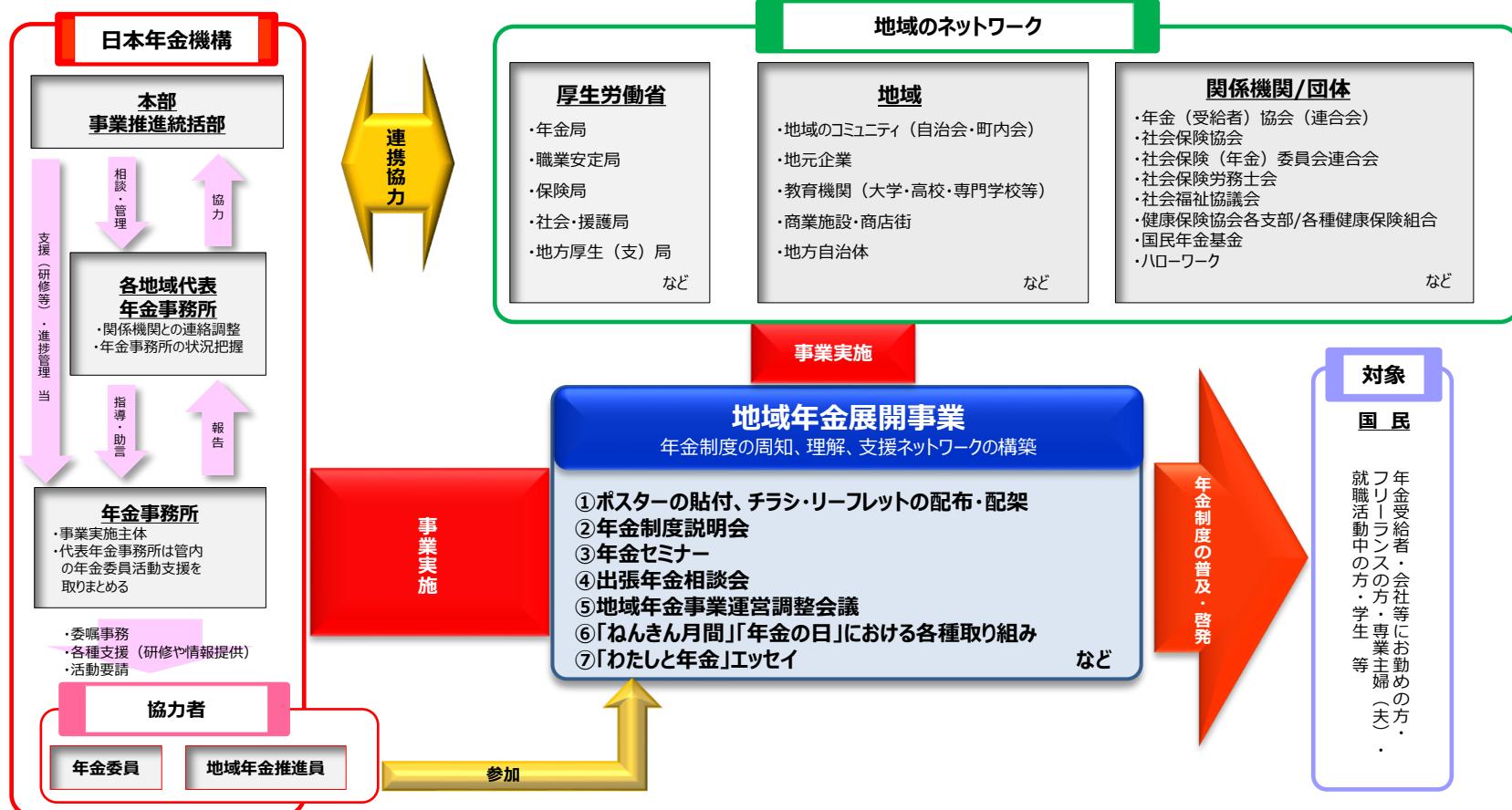
項目番号	日付	事業名	意見・提案事項	回答
11	令和6年7月25日 第12回運営調整会議	年金委員活動支援事業	年金委員表彰伝達式ですが、大きなホールで受賞を受けることがステータスとなっています。これからも日本年金機構と全国健康保険協会が協力して実施していきたいと思います。	今後とも協力をして実施してまいりたいと思います。

5. 令和7年度の事業計画（案）（1/4）

【取り組み方針】

- 日本年金機構の組織目標である「お客様サービスの一層の向上のためのデジタル化の推進」を実現するために取り組んでまいります。
- 制度改正を含む公的年金制度の理解を一層深めるため、教育関係機関における年金セミナーおよび年金制度説明会を実施いたします。また、結果を検証し、実施内容の充実を図ることで、参加者の一層の拡大を図ってまいります。

《地域年金展開事業のイメージ図》



5. 令和7年度の事業計画（案）（2/4）

事業名	取り組み内容	具体的な活動
地域連携事業	<p>正しい年金制度の知識や手続きを周知することは、無年金者や低年金者対策としても有効なことから、市区町村、自治会、事業所および関係機関や関係団体等と連携し、幅広く制度周知する機会を活用し、年金制度の普及に努めています。</p>	<p>チラシ・ポスター等の配布 ⇒年金制度や年金制度改正等に関するチラシやリーフレット等の配布、設置について、年金委員と連携を図りながら進めています。</p> <p>年金講座の開催 ⇒年金事務所管内の事業所および管内の自治会等を対象として制度および事務手続きに関する年金講座を開催します。 ⇒開催にあたっては、事業所に対しては対面型またはWeb会議サービスを活用した非対面型にて、自治会等に対しては対面型にて実施します。</p>
地域相談事業	<p>年金事務所から遠方の地域住民に対するニーズに応えるため、市役所・町村役場での出張年金相談窓口を開設します。</p> <p>学生への利便性に応えるため、学生納付特例制度の免除申請窓口を開設します。</p> <p>留学生増加に伴い、大学・専門学校等に在籍する外国人の方々にチラシ配布や説明会を実施します。</p>	<p>遠隔地における出張年金相談会の実施 ⇒山武市、勝浦市、鴨川市、館山市の協力を得て、遠隔地において定期的に年金事務所の職員が市町村役場等に出向き、出張年金相談を行います。</p> <p>出張年金相談会等の開催 ⇒大学（植草学園大学、国際武道大学、東京情報大学）、専門学校（ちば愛犬動物フランク学園、国際トラベルホテルブライダル専門学校、ジェイヘアメイク美容専門学校、ハッピー製菓調理専門学校 4校合同相談会）で開催します。</p> <p>大学・専門学校等に在籍する留学生へのリーフレット配布等 ⇒「年金に関する情報（多言語パンフレット・動画）」および「公的年金制度のご案内」のチラシを配布します。また学生へのガイダンスを希望する学校に出向き、説明会を実施します。</p>

5. 令和7年度の事業計画（案）（3/4）

事業名	取り組み内容	具体的な活動
年金セミナー事業	<p>国民年金保険料の納付率向上や将来の年金権の確保のため、地域年金展開事業の中核として、年金に加入して間もない、もしくはこれから年金に加入する若い世代に対し教育機関と連携し年金セミナーを実施します。</p>	<p>高等学校、専門学校等における年金セミナーの実施</p> <p>⇒高等学校においては、卒業後の進路に応じて、学校側が要望する年金セミナーを提案します。（進学対象セミナー、進学・就職混合セミナー、就職対象セミナーの3種類作成し、提案していきます。）</p> <p>⇒専門学校においては、次年度の就職活動を見据えて、年金に加えて、社会保険制度に関する説明を求人票の見本を配布して行います。</p> <p>⇒高校のセミナー資料は「高等学校新学習指導要領対応」に基づき、厚生労働省が令和4年3月末に全国の学校に配布した「高校生向け社会保障教育指導者用マニュアル」に沿った資料を作成し、使用します。</p> <p>⇒大学においては、学生納付特例制度ガイダンスの開催に向けて出張相談会とのパックにてアプローチを行ってまいります。</p> <p>⇒セミナーにおいて、学生納付特例制度の申請方法を、「マイナポータルからスマホで国民年金手続の電子申請ができる」旨のチラシを基に説明を行い、ペーパーレスによる手続き方法の利便性の啓蒙を図ってまいります。</p>
	<p>地域年金推進員が効果的に活動できるよう、年金事務所との連携強化を行っていきます。</p>	<p>地域年金推進員への活動支援</p> <p>⇒県代表年金事務所にて、活動状況の把握のため、隨時、推進員と連絡を行い、活動のフォローアップをします。</p> <p>⇒地域年金推進員同士が活動の把握と意見交換を定期的に行うため、年3回地域年金推進員連絡会を開催します。（5月、8月、1月）</p>

5. 令和7年度の事業計画（案）（4/4）

事業名	取り組み内容	具体的な活動
年金委員活動支援事業	年金委員に対する定期的・継続的な情報提供を行い、年金制度に関する知識の向上および活動の活性化を図ります。	<p>①年金委員への情報提供 ⇒新たに年金委員となった方が円滑に活動することができるよう、委嘱時に「職域型（地域型）年金委員活動の手引き」を配布します。</p> <p>⇒年金委員が円滑に活動することができるよう、年金に関する情報や協力ををお願いしたい内容等を毎月郵送します。</p> <p>②地域型年金委員連絡会および研修会の実施 ⇒地域型年金委員と連携を強化するため、県代表事務所で県連絡会を、各年金事務所で地区連絡会および研修会を行います。</p> <p>③「ねんきん月間」の駅頭リーフレット配布 ⇒11月のねんきん月間に、駅頭にて地域型年金委員の協力のもと、ねんきんネットのリーフレットの配布を行います。</p> <p>④「年金の日」年金講座開催 ⇒11/30（日）千葉年金事務所にて、千葉県内の地域型年金委員に対して年金講座を開催します。</p> <p>⑤表彰状伝達式の開催 ⇒顕著な功績が認められる年金委員を推薦し、表彰状伝達式を開催します。 令和7年度開催 開催日・場所未定</p>
	年金委員制度を広く周知し、委嘱拡大に関する取り組みを実施します。	<p>①地域型年金委員新規委嘱への勧奨 ⇒自治会主催の年金講座に参加する民生委員に対して、年金講座終了後に地域型年金委員の役割等について説明を行い、委嘱を依頼します。</p> <p>②職域型年金委員未設置事業所への勧奨 ⇒職域型年金委員の委嘱拡大を図るため、現在、年金委員が設置されていない事業所へ文書等により委嘱勧奨を行います。また、現任の事業所従業員の退職や人事異動によって減少することのないよう、退任される職域型年金委員に対して、後任者推薦について協力を要請します。</p>